

<全体課題>

技術的観点、法的観点、経済的観点の3つの観点からの総合的な特許の価値評価が十分にできない。

<全体効果>

特許書類を解析することにより、特許の価値を自動的に、精度高く算出できる。

【請求項1】(1)(2)(分類されている特許に対して、分類毎の価値に基づいて、経済的重みを取得し、かつ、特許明細書、請求の範囲を解析し、法律的、技術的価値を算出する。そして、3方向の総合的な特許価値を自動算出する。)

1以上の特許書類と当該特許書類の属性を示す特許属性を有する特許情報を格納している特許情報格納部と、

特許属性と当該特許属性に対応する値である属性値を有する特許属性情報を1以上格納している特許属性情報格納部と、

前記1以上の特許書類を解析して、当該1以上の特許書類の価値を示す情報である中間価値情報を、1以上算出する中間価値情報算出部と、

前記1以上の特許書類の中間価値情報と、前記1以上の特許書類に対応する特許属性に対応する属性値に基づいて、1以上の特許書類の特許価値を算出する特許価値算出部と、

前記特許価値算出部が算出した特許価値を出力する特許価値出力部と、を具備する特許価値算出装置。

<効果>

精度高く特許価値を算出できる。

【請求項2】(1)(2)(CL1-中間価値情報算出部は、特許特性値を算出する)

前記中間価値情報算出部は、

前記1以上の特許書類を解析する特許書類解析手段と、

前記特許書類解析手段が解析した結果に基づいて2以上の特性値を算出する特性値算出手段と、

前記特性値算出手段が算出した2以上の特性値に基づいて1以上の特許書類の価値を示す情報である中間価値情報を、算出する中間価値情報算出手段と、を具備する請求項1記載の特許価値算出装置。

<効果>

精度高く特許価値を算出できる。

【請求項3】(1)(2)(CL2-特許特性値の具体例)

前記特許書類解析手段は、

前記1以上の特許書類が有する1以上の特許請求の範囲を解析し、

前記特性値算出手段は、

前記特許書類解析手段が解析した結果に基づいて、発明本質抽出性を示す特性値である発明本質抽出性値を算出する発明本質抽出性値算出手段と、

前記特許書類解析手段が解析した結果に基づいて、発明展開性を示す特性値である発明展開性値を算出する発明展開性値算出手段を具備し、

前記中間価値情報算出手段は、

前記発明本質抽出性値算出手段が算出した発明本質抽出性値と、前記発明展開性値算出手段が算出した発明展開性値に基づいて各特許書類の価値を示す情報である中間価値情報を、算出する請求項2記載の特許価値算出装置。

<効果>

精度高く特許価値を算出できる。

【請求項4】(2)(CL1~3-特許明細書、特許請求の範囲を解析し、自動的に特許を分類する)

コメント [HT1]: 特許請求の範囲、明細書、図面、要約書である

コメント [HT2]: 技術用語、IPC、Fタームなど、分類のための情報である

コメント [HT3]: 不揮発性の記録媒体でも良い。

コメント [HT4]: 分類情報ごとの市場価値を示す値である

コメント [HT5]: 不揮発性の記録媒体でも良い

コメント [HT6]: 言語解析方法は問わない。パターンマッチング、形態素解析、構造解析などを含む

コメント [HT7]: 品質という概念も含む

コメント [HT8]: 発明本質抽出性、発明展開性、強靭性、実施可能担保性など

1 以上の特許書類を解析し、当該 1 以上の特許書類の特許属性を取得する**特許属性取得部**と、  
前記特許書類と前記特許属性を有する特許情報を前記特許情報格納部に蓄積する**特許情報蓄積部**をさらに具備する請求項 1 から請求項 3 いずれか記載の特許価値算出装置。  
<効果>  
容易に精度高く特許価値を算出できる。

【請求項 5】(2)(CL4-特許分類方法が、ヒートマップの手法)  
前記**特許属性取得部**は、  
発明を示す技術用語を前記特許属性として取得する請求項 4 記載の特許価値算出装置。  
<効果>  
容易に精度高く特許価値を算出できる。